



令和 2 年 3 月 1 日 現在
総世帯数 1,916 世帯
総人口 4,732 人
男 2,304 人
女 2,428 人

神林地区球技大会

2月23日(日)、天皇誕生日に、町会対抗のソフトバレーボールとラージボール卓球の二種目で球技大会が行われました。ソフトバレーボールでは交代しながら多くの方が参加されました。ラージボール卓球では老若男女、年齢関係なく熱い戦いとなりました。それぞれ応援の方々と一喜一憂しながら、和気あいあいと熱戦が繰り広げられました。



***ラージボール卓球**
1位 下神町会
2位 南荒井町会
3位 町神町会
敗者復活戦優勝 梶海渡町会
***ソフトバレーボール**
1位 寺家町会
2位 川東町会
3位 南荒井町会
皆様お疲れさまでした。



松本山雅

2020シーズン開幕

2019年、松本山雅FCのシーズンはJ1リーグ17位でJ2リーグへ降格となり、8年間監督を務めた反町さんから布監督に交代、そして大勢の選手も入れ替わりしました。

2月16日(日)、カップ戦から2020シーズンが開幕し、アウェーでセレッソ大阪と対戦しました。前半5分に先制したものの、結局1-4で敗戦してしまいました。やはり相手はJ1チーム、格の違いはやむを得ないのでしょうか。

1週間後の2月23日(日)、J2リーグも開幕です。アウェー愛媛FCとの対戦でした。前半立ち上がりから試合を支配してチャンスはあったが後半開始早々に失点しました。しかし、その4分後には鈴木選手が同点ゴール、さらに阪野選手が逆転のゴールを決めて2-1で勝ちました。私はテレビ観戦でしたが、遠い愛媛の地に950人もの山雅サポーターが声援を送り、6年ぶりの開幕戦勝利に沸きました。J2とはいえ勝利の味は格別です。シーズンは始まったばかり。新監督と選手間の連携を密に新生松本山雅がJ1

復帰するよう期待したい。

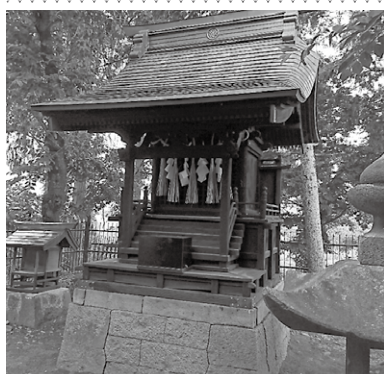
わがまち自慢 7

姫宮・太郎様と石像群

南荒井公民館本館東の朱の鳥居をくぐり、木陰の中を進むと神楽殿、その奥に姫宮神社がたたずんでいます。

郷土の安全・五穀豊穡を祈って諏訪姫神が勧請されたものです。江戸時代中期の『信府統記』にも神社名があります。明治四十年に神林神社に合祀されましたが、翌年七月再び分社し、遷宮して今日に至っています。

また、隣接して蚕の神様として太郎様の祠があり、養蚕が盛んだった往時の面影が境内に残っています。敷地内では人々の祈りの対象となった青面金剛尊、石尊権現などの歴史的石造物を見ることができま



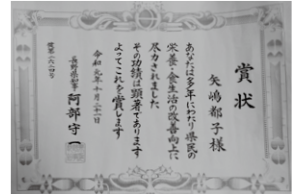


矢嶋都子さん (後列左から3番目)

神林地区では常時13名前後の会員さんが健康長寿を目指したバランスのとれた減塩食事に1回程度の活動をしています。そ

皆さんは食生活改善推進員(食改)を存じでしょうか。食改とは、食生活を通じたボランティア活動を行い、地域の健康づくりを推進し、食生活の改善や運動の実践など健康長寿の実現を目指して活動する方々です。長野県の食改は、食生活を見直すグループ講習会や親子料理教室、減塩テープを活用した味噌汁の塩分測定、ヘルスサポーター21事業など様々な食生活改善の活動に積極的・意欲的に取り組み、平成27年には、長野県民の平均寿命が男女共に日本1位となった立役者であることが検証されました。

神林地区の人あり! 7
地域の食生活改善に尽力
矢嶋 都子さん (寺家)



の神林地区食生活改善推進協議会を平成6年に立ち上げた一人が今紹介する矢嶋都子さんです。入会10年目から松本市の会長を6年、松本平支部(松本・塩尻・安曇野市・東筑)の支部長を4年、県の役員を6年勤められ、昨年卒業いたしました。このように県民の栄養と食生活改善の活動を永年続けてきたことが評価され、昨年長野県知事より保健衛生表彰を受賞しました。

25年間の活動で一番印象に残った出来事は、親子の料理教室に参加したお母さんが、当時自分が小学生の時に同じように母親と参加し、初めて包丁を持たせてもらい、料理が好きになり、今日は自分の子供と一緒に参加しました。という感想をもらったとき、長い間続けてきて良かったと感動したそうです。

役員を卒業された現在も、神林地区食生活改善推進員の一人として、神林公民館や福祉ひろばの料理教室などで活躍をいただいています。

未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い

第35回公民館研究集会、令和元年度地域づくり市民活動研究集会が2月16日(日)Mウィングで行われました。

午前中には東京大学大学院の牧野篤教授と院生3人からの基調講演と調査報告がありました。

「町内公民館からはじまるコミュニティづくり」と題し、同一地区内であっても町会ごとに特徴が違うこと、地縁による町会運営の継続は難しくなってきたこと、様々な視点から町会を見られる第3者を交えたワークショップを持つことなどの柔軟さが求められているとの話でした。組織が壊れると役職につくのも嫌々になる、住民一人一人が主役として楽しんで地域を動かす事が出来れば更なる発展につながるのではないかと感じました。



またこの日は、長年、公民館活動にご尽力いただいた方への感謝状贈呈式も行われ、神林地区では5

人の方へ贈られました。午後は分科会が開かれ、私は第6分科会「もつといい話し合いしてみませんか?」に参加しました。

【アクティブ・ブック・ダイアローグ】という読書法で1冊の本を参加者で分担して読み、要約をつなぎ合わせるというものでした。それぞれの発表を聞き、何を思ったかグループで話し合いました。

対話とは、お互いの意見や価値観を伝え合い、その相違から知見を得るものだそうです。相手の話を否定しないことも大切で、傾聴と共感の大事なスタイルを学びました。

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント! 締切は4月30日(木)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

【今回のキーワード】

おりんぴっくいやー ○○○○せ○○○

鎖川

新型コロナウイルスの感染、拡大が連日続いている。他県の事と違って、長野県下で、しかも身近な地域で感染が確認され、シヨックを隠しきれない。▼南極大陸を除く全世界でこのウイルスによる発症が報告されており終息の目途が無いのが怖い。寒い冬を乗り越えて人と物の動きが加速する4月を迎える。▼感染拡大防止の為に政府がとった小中高校の一斉休校は唐突だったがやむをえないと思った。一刻も早い有効な治療薬の開発を期待したい。今我々が取り組めるのは手洗い、うがい、マスク着用など限られる。▼スポーツ観戦にも影響が出ている。プロ野球を始め、Jリーグ、更には大相撲まで無観客試合や延期が続いたのは残念だ。究極は東京オリンピック開催の判断まで及ぶかもしれない。▼人類は「ウイルスとの闘いの歴史」とも言われている。目に見えないこの難敵に世界の叡智が結集されて立ち向かい克服できるものと信じていたい。みなさん、万全の体調管理で悪いウイルスにスキを与えず乗り越えていきましょう。